

# 地区ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団委員会 委員長  
**溝畑 正信** (東大阪東RC)

日 時:2012年8月25日(土)14:00~17:00  
会 場:大阪YMCA 会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーがG主催で開催されました。クラブの会長、ロータリー財団委員長、FVP担当実務者の皆様を対象に、高島凱夫G、地区ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、災害支援プロジェクト委員長岡部泰鑑直前G、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員大谷透PG、地区研修委員会サブリーダー若林紀男PG、同岩田宙造PG、福家宏GE、泉博朗GN、地区研修委員会、AG、AGEの皆様、国際奉仕委員会小林哲委員長、社会奉仕委員会初木賢司委員長など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は村橋義晃地区代表幹事が務められました。

高島凱夫G

ロータリー財団は、本年度から“Future Vision Plan=FVP”の計画年度に入り、今年度中に、各クラブは地区補助金を使っての奉仕プログラムの立案をして、申請をしなくてはならない、地区としても、広く多くのクラブが、この新地区補助金を使って、多くの有意義なプログラムが出来上がるよう、様々な方策を考えていくつもりであり、今年度は、現行の地区補助金制度も並行して申請を受け付けており、是非、申請をしていただきたく存じます。

皆様方にご寄付いただいたお金を、いかにうまく各クラブの奉仕プロジェクトにお使いになるかを再確認していただき、財団活動の意義を少しでもご理解下さいますようお願いいたしますと、ご挨拶されました。

財団部門顧問 横山守雄PG

FVPは、従来のプロジェクトとそんなに変わらない、決して難しいものではない、新地区補助金は従来の社会奉仕活動、グローバル補助金は、従来の国際奉仕・WCS活動とそんなに変わらない、クラブが積極的に取り組んでゆくことによってクラブの活性化につながってゆくものと考え、難しく考えないで、やれるものから取り組んで頂きたいと、ご挨拶されました。



溝畑正信ロータリー財団委員長

ロータリー財団 未来の夢計画 新補助金制度理解のためにというタイトルで、財団目標の、ポリオ撲滅、未来の夢計画の準備、財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて世界に平和を育む、全ロータリアンにロータリー財団への寄付を奨励、財団の資金を守る、に沿って話しました。

未来の夢計画は、ロータリーという組織全体に有益であるという考えの下に立ち上げられたもので、新地区補助金、グローバル補助金を通じて、より良いプロジェクトが実施されれば、地域社会により大きな影響を与えることができる。ロータリーの公共イメージも高まると考えられる。そうなれば寄付の増加、クラブの活性化、より良いプロジェクトへとつながる、と話しました。

寄付増進プログラム+ポリオプラス部門

今西敦之 財団情報・増進・ポリオプラス委員長は、寄付の種類<年次基金および用途指定寄付、恒久基金>、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進のお願い、ロータリーカード入会のお願い、1985年以来、ポリオの発症数は99%減少し、年間35万件だった当初と比べ、2011年にはわずか650件になった、現在野生ポリオウイルスは、4か国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)のみに常在、このうちインドではポリオ無発症の状態を維持している、残る1%の、容易でないポリオ撲滅運動にご協力をお願いしますと話しました。

財団法人道的補助金部門

吉川仁育 財団法人道的補助金委員長は、ロータリー財団の人道補助金、これにはマッチング・グラント(主に国外事業に利用される)、および地区補助金(主に国内事業に利用される)があるが、主に現行の地区補助金について使用状況、申請の条件、申請書の記入方法を説明しました。近年、多くのクラブがこの補助金制度の利用によって活発な奉仕活動が実施されています。